
W.K学園

鬼隊長

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

W・K学園

【Nコード】

N8317K

【作者名】

鬼隊長

【あらすじ】

一般高校に通っている霧誌 しかしその一般高校でなぜか度々事件が発生する、霧誌はこの難局を乗り越え無事卒業することができるのか!?

一応自己紹介

こんにちは、こんばんは、初めましての方は初めまして 鬼隊長と申します。今回僕が書くのは学園物語で、主人公と先生によるドタバタコメディです。

あと、学園物語だけど ラブシーンとかはいつさい出てこないんでそこところは覚悟しておいてください(なんで?)

はい、んじゃあスタート、、、と言いたいのは山々なんだが

まだ文字数2000越えてねえから投稿できないじゃんか!!

しかたないんで物語に出てくる人物を紹介するわ

靄誌(主人公)

今作品の主人公、一応ツツコミ役 でもポケるときはポケるといふ

はいじゃあ スタートお

ジャッキー顔負け

俺の名前は靄誌^{もやし} とある高校の三年生だ、どこにでもいる普通の
もやし、、、じゃない！じゃない！普通の学生な！ふ・つ・う
の学生！ なんだが このクラス

3年K組に入ってから少しずつ俺の人生が変わり始めたんだ

4月 ー始業式ー

靄「つて、おい！全員顔見知りじゃねえかああ！！」

それもそのはず 何しろ去年のクラスから持ち上がりしたんだから、
でも俺は聞かされてなかったんだからね！（ツンデレ風）

紺「ハハハ、何一人で騒いでんだ？」

靄「あ、紺無」こいつは紺無^{こんぶ}俺の幼馴染み、スポーツ万能でよくモ
テる 少し天然なのがたまに傷だろう

靄「また紺無と一緒にかー 同じ中学に通いだしてから ずっと同じ
クラスじゃん」

紺「ハハ、俺達って運がいいのな」

といつも通り話しに華を咲かしていた、、、はずだった

「バリーイイイイン」

突然窓ガラスが割れたかと思うと 誰かが飛び込んできたではないか！

靄「ここに、ここ4階だぞ」それはまさにジャツキーも目をひんむいて ただ驚くしかない 状態だった（ジャツキー知らない人いたらごめん）

実際 クラスの大半がジャツキーと同じ事をしていた（ジャツキー別にこんなことしてないと思うけど）

だがこの時は思わなかったらう

まさかこの人が担任の先生だったとは

最強の担任教師来る(前書き)

今回ちょっと てけとー になってるかも

最強の担任教師来る

すると先生らしき人は何ごともなかったかのようになり椅子に座り

「出席をとる・・・」と言った

何かなんだかわからないが周りのみんなは名前を呼ばれているので一応返事をしていた

「鷹・・・」はい！

「煮鼠・・・」はい！

いよいよ俺の番だ、少し緊張していた。

そして先生は、

「帝王……はい！」

……え？

……え？

なんか飛ばされたんですけどww

もしかしたら俺の漢字読めなかったのか？

「あの〜 先生僕名前呼ばれてないんですけど？もしかして漢字読めませんでしたか？」

すると先生は一言

「誰だ？ てめえ……」

なんか飛ばされたんですけどww

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8317k/>

W.K学園

2010年10月15日21時24分発行